

# 水辺のごみ見つけ！2022（全国水辺のごみ調査）の結果

= 概要版 =



水辺にはたくさんのごみが散乱しています。海洋プラスチック汚染の対策のためにも、水辺に散乱するごみの状況を全国規模で把握することは大切であり、本調査は7年目となります。2022年は、新たに国土交通省の河川管理者にも協力いただき、これまで以上に全国的に広がった調査が実施されました。

ごみを調査することにより、水辺のごみへ目を向け、何でごみがあるのかを考え、周囲の環境への関心を高めました。

(調査期間: 2022年4~11月)



## ◆調査結果

○ 飲料ペットボトル: **28,842** 本  
 ○ レジ袋 : **5,312** 枚  
 ○ カップ型飲料容器: **4,830** 個

[参考]2021年調査件数は、件数701件、飲料ペットボトル27,843本、レジ袋6,076枚、カップ型飲料容器2,331個

◆調査状況 ○参加人数 のべ **6,801** 人  
 ○調査件数 **726** 件  
 ○調査範囲計(水辺の長さ) **228.29**km

(調査地別内訳)	川	海	湖沼	合計
飲料ペットボトル(本)	25,882	1,792	1,168	28,842
レジ袋(枚)	4,545	465	302	5,312
カップ型飲料容器(個)	4,021	608	201	4,830
調査件数(件)*1	645	62	19	726
調査範囲(Km)*2	206.10	6.60	15.59	228.29
参加人数(人)	5,970	461	370	6,801

その他、まち・水中で9件 合計:

ペットボトル 19/レジ袋 122/カップ型飲料容器 113

\*1) 同じ地点でも調査時期が異なる場合は複数件としてカウント

\*2) 川の両岸を調査した場合、片側の水辺距離の2倍で計算すると、調査した水辺の長さは274.62kmになりました。

## ◆河川管理者の調査が加わる

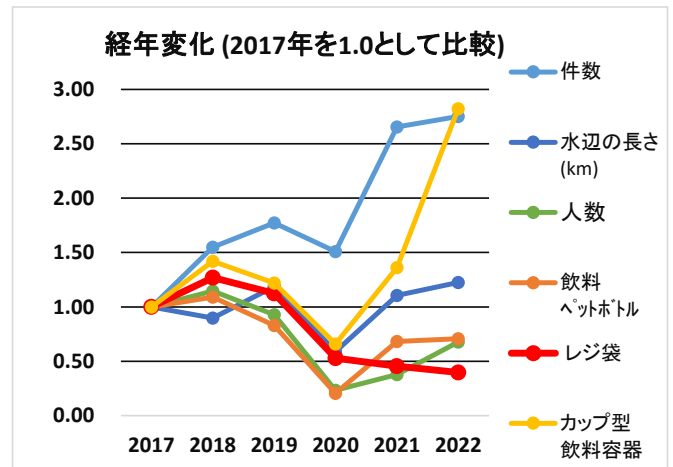
2022年は、全国の一級河川等を管理する国土交通省の河川管理者の調査結果が加わりました。市民と一緒に実施した河川清掃、河川管理者による調査など、全国109地点(合計2,873人、約62.2km)で本調査が行われました。

河川管理者や新たな市民団体等の調査が加わり、全国40都道府県内の水辺での調査へと広がりました(前年は34都道府県)。



## ◆レジ袋減少が続く！

調査地点や回数が年により異なるために、単純な比較はできませんが、2022年は調査件数の増加傾向に比べ、レジ袋は2021年よりもさらに減少傾向が伺えました。



遠賀川(福岡県)



淀川(大阪府)



琵琶湖(滋賀県)



関川(新潟県)

本調査は、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて実施しました。